



コスモス

No.2

【知】 進んで学びよく考える子 【徳】 明るく思いやりのある子 【体】 たくましくねばり強い子



新しい時代を迎え

校長 荻野 浩

木々の新緑が、目に眩しい季節を迎えました。

子どもたちは、4月8日からの3週間、新しい学校・新しい学年・新しい勉強に適応しようと、一生懸命取り組んでいました。期待と不安の混じり合ったスタートだったと思いますが、学校のあちらこちらで、吹上小学校の子どもたちの”よさ”を感じることができました。

朝には、通学班の班長・副班長さんが、班員の歩き方を確認しながら、温かい眼差しで大事に登校させている姿が見られ、思いやりと責任感を感じました。

校内では、気持ちのよい挨拶をかわす子どもたちが多く、心地よい雰囲気です学校生活を送ることができています。

中でも6年生は、忙しい中、学習や生活に取り組みながら、来るべきバスケットボール大会に向け、時間を惜しんで練習に励んでいます。さすが最高学年だと感心している毎日です。

また、清掃時間には、一人一人が自分の役割をしっかりと果たし、愛着をもって学校中をきれいにしてくれています。特に、職員室から保健室・昇降口までの広い範囲を2年生が、「一つもごみを見逃さないぞ」と思いを込めて掃いたり、雑巾で廊下をピカピカに拭いてくれたりしています。

子どもたちの頑張りがたくさん見られた4月。嬉しかったです。これからも、子どもたちの頑張る姿をたくさん見つけていきたいと思います。

明日から、平成から令和へ、時代をつなぐ連休が始まります。

しかし、年号が改まり、新しい時代が幕を開けたとしても、私たち教職員、保護者・地域の方々の子どもたちへの思いは、変わらないと思います。

○しっかり勉強し、友だちと仲良く生活して、毎日が楽しく過ごせること。

○自分を大事にするのと同じように、周りの人たちも大事にする優しい心をもつこと。

○困難なことがあっても、くじけず、粘り強く取り組む強い心をもつこと。等々。

願いは、いつの時代でも同じです。そして、そのための手立ても、変わらないと考えています。それは、子どもたちの身近にいる者が、お手本となることです。学校では、教職員や最高学年の6年生をはじめとする上の学年の子どもたちであり、家庭や地域では、家族や地域の方々です。

身近な存在の言動が、子どもたちの成長に影響していきます。

○投げかける言葉は？(分かりやすさ、温かみ)

○社会のルールやマナーの順守は？(気持ちよさ) 等々。

日々の生活の繰り返し(積み重ね)が、大きくものをいいます。

明日からの10連休、各ご家庭において、様々な計画をされていることと思います。その場その場で、ちょっと「お手本」を意識しながら、子どもたちと楽しい時間を過ごされてはいかかでしょうか。令和元年5月7日、笑顔で登校してくる子どもたちの姿を楽しみにしています。

